

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 539

事務事業名	文化財管理事業
-------	---------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会		
課名	文化振興課		
課長名	三ヶ島恵利子	内線	375
担当者名	松川憲毅	内線	372

基本目標	010301	人を育むまち
政策		文化の振興と生涯学習の充実
施策		文化財の保護・活用・継承
関連施策		

会計	一般会計	
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
事業コード	130000	文化財管理事業

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	市内の文化財		
誰(何)に対して事業を行うか			
意図	大村市の貴重な文化財を保護し、後世へ継承する。		
対象をどのような状態にしたいか			
事業概要	大村純忠史跡公園他12か所の指定文化財地の除草・清掃などの維持管理を行う。文化財の保護を図るため、文化財審議会を開催して指導・助言を得る。指定文化財の管理者に、維持管理に関する経費の補助を行う。		
意図を達成するために実施することは何か			
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	文化財保護法・大村市文化財保護条例		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 維持管理文化財数	計画値	12	12	12	18	
		実績値	16	18	18		
	達成度	%	133.3%	150.0%	150.0%		
	② 文化財説明板設置及び改修数	計画値	1	1	1	1	
実績値		1	0	1			
達成度	%	100.0%	0.0%	100.0%			
成果指標	① 国・県・市指定文化財数	計画値	50	50	50	50	
		実績値	49	49	48		
	達成度	%	98.0%	98.0%	96.0%		
	②	計画値				15	
		実績値					
	達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	6,481	15,378	6,127	6,006	6,901	6,163	6,163	0
国庫支出金								
県支出金		618		1	1	1	1	
地方債								
その他	218	196	531	385	357	357	357	
一般財源	6,263	14,564	5,596	5,620	6,543	5,805	5,805	
② 人件費(千円)	2,719	4,314	3,633	5,198	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.27	0.49	0.42	0.60	文化財保護 施設管理	文化財保護 施設管理	文化財保護 施設管理	
時間外勤務(時間)	9	28	58	140				
嘱託等人数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30				
フルコスト(①+②千円)	9,200	19,692	9,760	11,204				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	市内の文化財を良好な状態に保つため、適切な維持管理を継続して実施している。 市が管理する指定文化財等の土地について、近隣住民等から維持管理に関する要望が寄せられるため、可能な範囲で対応を行った。
事業が抱える問題・課題等	文化財の所有者・管理者の高齢化が進み、維持管理が困難になる箇所が増加しつつある。このため、市が維持管理作業をせざるを得ない箇所が増えるものと考えられる。また、同じ理由から指定・未指定に関わらず、史跡関係物件の市への権利譲渡要望が増加するものと予想される。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

史跡地の除草などの軽微な管理については、シルバー人材センターや地元町内会などをお願いするとともに、職員による除草作業も加えるなど経費の削減に努めており、これ以上の削減は難しい。

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性 その他の見直し

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	市内の文化財を良好な状態に保つための必要最低限の事業であり、現状の内容を維持する。 文化財保護について、新しい保護制度を構築する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	多岐多様な文化財について、後世に継承することができる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。